

令和6年度のアサリ放流が終了しました

11月20日、多摩川河口にアサリを8トン放流し、今年度のアサリの放流を予定どおりすべて終了しました。今年度の放流量は昨年度と同様で、三枚洲、羽田沖浅場、多摩川河口の三か所に合計51.2トンを放流しました（表1、図1、2）。

アサリの放流に加えて、海底環境の改善を目的に桁網や腰巻籠を用いた海底耕耘も実施しています。年度内には、東京湾湾奥の3か所で延べ235ヘクタールの海底耕耘を行います（図3）。この海底耕耘により、固く締まった海底の砂に酸素が供給され、貝類やその他の底生生物が生息しやすい環境が整います。さらに、海底の有機物の分解が促進され、海の生態系全体がより健全に保たれます。

今後も、これらの取り組みを通じて、東京湾の豊かな自然環境を守り、東京都内湾魚介類資源の維持増殖のため事業を継続していきます。

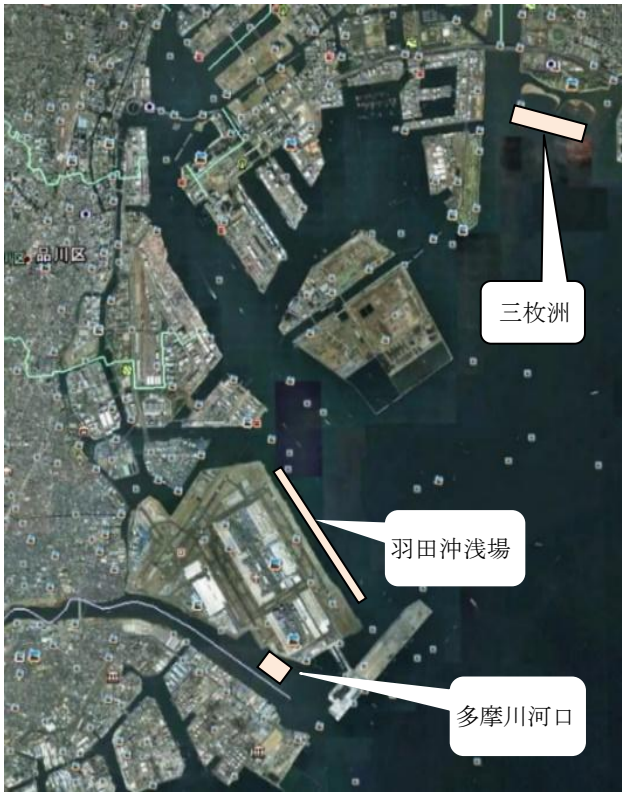


図1 放流及び海底耕耘の場所



図2 アサリ放流（4月，三枚洲）



図3 腰巻籠による海底耕耘
（9月，多摩川河口）

表1 令和6年度 アサリ放流実績（トン）

放流場所\月	4月	6月	10月	11月	計
三枚洲	8	10	10		28
羽田沖浅場	7.2				7.2
多摩川河口			8	8	16
計	15.2	10	18	8	51.2